

科目名	公共	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科2年1組	
学 習 の 到達目標	社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方について理解する。 社会の諸課題について、事実を基に多面的に考え、公正に判断する力と、構想したことを議論する力を身に付ける。			教科書・副教材等	高等学校 改訂版 新公共 (第一学習社)	
評 価 規 準						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	・現代の諸課題を考察するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。				・定期考査 ・授業中の発表と内容 ・各種プリントやノートの内容	
思考・判断・表現	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用できている。 ・事実を基に、多面的・多角的に考察し公正に判断し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、構想したことを議論している。				・定期考査 ・授業中の発表と内容 ・課題解決に向けた論述とその構成及び内容	
主体的に学習に取り組む態度	・よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				・発表の積極性と内容 ・課題の内容 ・ノートのまとめ方	
学 習 計 画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考査
1 学 期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	・公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、青年期を生きる私たちは、何を考え行動すればよいかを理解する。 ・公共的な空間で生きていくために必要なこととして、個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解することを理解する。 ・伝統や文化と、自らの行動様式や考え方との関係について理解する。 ・生涯にわたって学習していくことの意義を考える。				期 末
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	・社会に参画する際、選択・判断をするための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考える。 ・人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを理解する。				
2 学 期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて、各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現されていくことについて理解する。				中 間・ 期 末
	第2章 政治的な主体となる私たち 第3章 経済的な主体となる私たち	・憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立を調整して合意を形成することなどを通して、よりよい社会が築かれることについて理解する。 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して、資源の効率的な配分が図られることを理解する。 ・市場経済システムを機能させたり、国民福祉の向上に寄与したりする役割を、政府などが担っていることを理解する。 ・より活発な経済活動と、個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解する。				
3 学 期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、自立した主体として、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する。				学 年 末

科目名	公共	単位数	2	学科・学年・学級	普 通 科 2 年 2 組	
学 習 の 到達目標	社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方について理解する。 社会の諸課題について、事実を基に多面的に考え、公正に判断する力と、構想したことを議論する力を身に付ける。			教科書・副教材等	高等学校 改訂版 新公共 (第一学習社)	
評 価 規 準						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	・現代の諸課題を考察するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。				・定期考査 ・授業中の発表と内容 ・各種プリントやノートの内容	
思考・判断・表現	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用できている。 ・事実を基に、多面的・多角的に考察し公正に判断し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、構想したことを議論している。				・定期考査 ・授業中の発表と内容 ・課題解決に向けた論述とその構成及び内容	
主体的に学習に取り組む態度	・よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				・発表の積極性と内容 ・課題の内容 ・ノートのまとめ方	
学 習 計 画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考査
1 学 期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	・公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、青年期を生きる私たちは、何を考え行動すればよいかを理解する。 ・公共的な空間で生きていくために必要なこととして、個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解することを理解する。 ・伝統や文化と、自らの行動様式や考え方との関係について理解する。 ・生涯にわたって学習していくことの意義を考える。				期 末
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	・社会に参画する際、選択・判断をするための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考える。				
	第3章 公共的な空間における基本的原理	・人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを理解する。				
	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて、各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現されていくことについて理解する。				
2 学 期	第2章 政治的な主体となる私たち	・憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立を調整して合意を形成することなどを通して、よりよい社会が築かれることについて理解する。				中 間・ 期 末
	第3章 経済的な主体となる私たち	・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して、資源の効率的な配分が図られることを理解する。 ・市場経済システムを機能させたり、国民福祉の向上に寄与したりする役割を、政府などが担っていることを理解する。 ・より活発な経済活動と、個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解する。				
3 学 期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、自立した主体として、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する。				学 年 末

科目名	政治・経済	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3 年 1 組
学習の到達目標	現代の政治や経済、国際社会の仕組みや動向について理解を深め、基礎的教養を高める。 広い視野に立ち、現代における政治や経済、国際社会に関する諸課題について主体的に考察し、公正に判断する能力を身に付ける。			教科書・副教材等	最新政治・経済（実教出版）
評価					
観 点		評 価 規 準		方 法	
知識・技能		・政治・経済の各分野に関する基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。 ・現代社会で生起する問題が複合的要因で生じていることを理解している。		・定期考査 ・授業中の発表と内容 ・各種プリントやノートの内容	
思考・判断・表現		・社会事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、考察した過程や結果を適切に表現できる。		・定期考査 ・授業中の発表と内容 ・課題解決に向けた論述とその構成及び内容	
主体的に学習に取り組む態度		・現代の社会にかかわる事柄に関心を高め、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付けている。 ・人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。		・発表の積極性と内容 ・課題の内容 ・ノートのまとめ方	
学習計画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	第 1 部 第 1 編 現代日本の政治 第 2 編 現代日本の経済		・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察する。 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解する。 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し、議論する。		期 末
2 学 期	第 2 部 現代の国際政治・国際経済 第 1 編 現代の国際政治 第 2 編 現代の国際経済		・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解する。 ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解する。 ・相互依存関係が深まる国際経済の特質や、日本の役割について多面的・多角的に考察する。 ・現代の国際政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。		中 間 ・ 期 末
3 学 期	第 3 編 国際社会における諸課題の探究		・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明する。		実 施 な し

科目名	政治・経済	単位数	2	学科・学年・学級	普通科3年2組（選択）	
学習の到達目標	現代の政治や経済、国際社会の仕組みや動向について理解を深め、基礎的教養を高める。 広い視野に立ち、現代における政治や経済、国際社会に関する諸課題について主体的に考察し、公正に判断する能力を身に付ける。			教科書・副教材等	最新政治・経済（実教出版）	
評価						
観 点		評 価 規 準			方 法	
知識・技能		・政治・経済の各分野に関する基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。 ・現代社会で生起する問題が複合的要因で生じていることを理解している。			・定期考査 ・授業中の発表と内容 ・各種プリントやノートの内容	
思考・判断・表現		・社会事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、考察した過程や結果を適切に表現できる。			・定期考査 ・授業中の発表と内容 ・課題解決に向けた論述とその構成及び内容	
主体的に学習に取り組む態度		・現代の社会にかかわる事柄に関心を高め、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付けている。 ・人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。			・発表の積極性と内容 ・課題の内容 ・ノートのまとめ方	
学習計画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1部 第1編 現代日本の政治 第2編 現代日本の経済		・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察する。 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解する。 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し、議論する。			期 末
2 学 期	第2部 現代の国際政治・国際経済 第1編 現代の国際政治 第2編 現代の国際経済		・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解する。 ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解する。 ・相互依存関係が深まる国際経済の特質や、日本の役割について多面的・多角的に考察する。 ・現代の国際政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。			中 間・ 期 末
3 学 期	第3編 国際社会における諸課題の探究		・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明する。			実 施 な し